

What Is 英語SAMURAI DO-JO?

英語教育・英語の授業に携わっている人あるいは興味ある人ならば誰でも参加できるワークショップ型の研修会。今回が20回記念となります！初めての方もどうぞ気軽にご参加ください。

Big River

岩手の英語教育をより高めていこうと、2007年春に結成された英語（教育）を愛する有志のグループです。英語教育に興味のある方なら誰でも参加できますので、下記アドレスまでご一報ください。随時受付中！！

当日の日程

9:30- 9:45 受付

9:45-11:15 「話しことばの学びの諸相」(大沢 俊成)

人間にしか備わっていないことばを使う能力に目を向けると、日本人的意思疎通の問題点として、日本という社会には、欧米と比べて言いたいことを話す“speak”があっても、きちんと筋道（論理）を立てて伝え、分かり合う“talk”がありません。特に、IT社会を生きる私たちは、スマホのようなコンピュータ・コミュニケーションの問題にも目を向けることが求められています。母語の発達が遅れている学び手は外国語習得も遅れるということや、英語教育の表現活動内容は小学校の英語教育と中学校の英語教育との連携のみならず、母語である国語教育とも連携すること、学び手の方言の持つ語感に目を向けることなどをお話します。

11:30-13:00 「小学校英語教科に向けた取組」(日向 速人)

日本の小学校教育は、2020年から3・4年生が「外国語活動」実施、5・6年生が「英語」の教科化となります。その教科化に向けて、「小学校英語」に関わるモジュール活動の実践、パフォーマンス評価の実践、そして絵本の活用等について実践してきたことを紹介します。

～ 昼食・休憩 ～

13:45-15:15 「初心忘るべからず」(山蔭 理恵)

ユニバーサルデザイン→自律的学習者→リテリング・ライティング→単元デザイン→即興性→評価 etc... 初任から5年間お世話になった一関の地で実践してきたことを中心に紹介しつつ、教師としての「核」の部分について英語の枠を超えてお話します。

15:30-17:00 「主体的・対話的で深い学び!？」(鈴木 泉)

次期指導要領では、各教科の授業における「主体的・対話的で深い学び」が求められています。わたしは今年度3年生を受け持ち、今後求められる授業の在り方について模索しながら実践しています。盛岡での実践を一旦すべてリセットし、大川目中での新しい挑戦について発表します！

17:00-17:30 アンケート記入・閉会

★ 終了後、盛岡駅前にて、懇親会（兼飲み会）を開催致します。（会費4000円）参加ご希望の方はご一報ください。

お申込み

お申し込みは下記のアドレスへのメールか、電話でお願いします。

お名前、所属（大学または勤務校）、当日の昼食申込の有無（500円弁当）、夜の懇親会の参加不参加を添えて、お願いします。【事務局：鈴木 泉（久慈市立大川目中学校勤務）】

Tel: 080-6025-1940

bigriver.spirit@gmail.com